

進め方が

いろいろな・

あります

町民(個人)は

地域や行政に関心を持って参加することにより、わたたくしたの願いが理解され、質の高いサービスにつながります。

情報収集・広報たつの、町のホームページ、ワークショップ、町政懇談会などを活用しましょう。

地域活動・町内会、区の行事に参加すれば、自分の住む地域が理解でき、課題が解決しやすくなります。

社会活動・培ってきた知恵、知識、体力をボランティアに活しましょう。



隣組・町内会・区は

私たちの身近な生活の場であり、親睦の場であります。防災、防犯、環境整備など重要な役目を担っています。

住民参加・少子高齢化、娯楽の多様化で都市化現象が進んでいます。子ども、学生、女性、高齢者など参加しやすい雰囲気づくりが大切です。



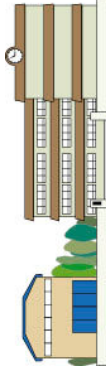
NPO・ボランティアは

専門的な知識、技術、情報を持って、福祉、防災、交流の場など幅広い分野で、活動しています。

連携することにより、大きな効果が期待できます。

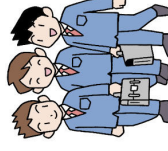
大学などは

生涯学習の場として、公開講座・講演会を行い、福祉、防災、観光、まちづくりで地域と密着した活動をしています。世代を越えた交流は、良い学びの場となるでしょう。



企業は

地域の一員として、環境整備、行事へ積極的に参加しています。社員が消防団・奉仕団などで活動しやすい環境を作る事が大切です。ノウハウの提供など地域と連携した活動支援が望まれます。



行政は

環境づくり

まちづくりに対する支援体制や町民の参加体制の整備、活動の場の確保、協働の担い手の育成など、環境を整備することが大切です。

職員の協働意識の醸成

協働の必要性について認識し、施策実施にあたり「協働の視点」から積極的に参加し町民と一緒に考えます。

実態の把握と情報の共有

地域のニーズを的確に把握し、事業計画の情報を積極的に提供します。また町民と情報を共有するため、「協働事例」をPRし、広報たつの、ホームページを一層充実させます。